

第6学年「社会科」シラバス

6年生ではこんな学習をします

学習の目標

歴史的人物やその業績、文化遺産などについて興味・関心を深め、歴史や伝統を大切にする心情を育成していきます。

日常生活における国の役割や世界における日本の役割について学ぶことで、世の中の仕組みだけでなく、あらゆる人々と共に生きていく大切さを自覚できるようにします。

調べ活動、体験活動、話し合いなどを通して、幅広い視野から歴史的社会的事象を捉えて、考えることのできる子どもを育成していきます。

学習の方法

観察や調査・見学・体験などの具体的な活動やそれに基づく表現活動を取り入れることで、社会科を身近に感じ、意欲をもって学習できるように工夫します。

我が国の歴史・政治・外交に関わる事象について、予想や話し合いを通じて思考力を深めていきます。

地図や統計資料などを効果的に活用し、調べた過程や結果を目的に応じて表現できるようにします。

総合的な学習と関連を持たせ活動の時間を十分保証し、前時の学習を振り返るなどして、社会的な知識が身に付くようにします。

学習の評価

社会科では、次の観点で評価します。

「進んで社会科の学習ができる。」

授業への態度、提出物、発表等

「社会的事象の意味や関連を考え適切に判断できる。」

行動観察、発表、ノート、テスト等

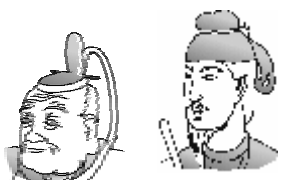
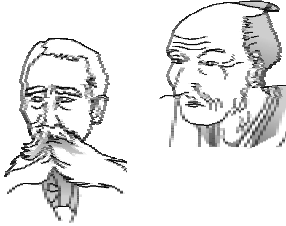
「資料を効果的に活用し、調べた過程や結果を目的に応じて表現できる。」

新聞、発表、テスト等

「社会的事象の役割やつながりが分かる。」

新聞、発表、テスト等

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容	
前期 49時間	1 日本の歴史 さあ開こう歴史の扉を (1)米づくりのむらから古墳のくにへ (2)聖武天皇と奈良の大仏 (3)源頼朝と鎌倉幕府 (4)3人の武将と全国統一 (5)徳川家光と江戸幕府	我が国における歴史上の主な事象について、先人の働きや文化遺産を中心に調べながら、その歴史的意義について考えることができるようにします。また、過去と現在との比較を行うことで、時代ごとの文化の特色についても理解できるようにします。	
	(6)江戸の文化をつくりあげた人々		
	(7)明治維新をつくりあげた人々		
	後期 51時間	(8)世界に歩みだした日本	
		(9)長く続いた戦争と人々の暮らし	
		(10)新しい日本, 平和な日本へ	
	後期 51時間	2 わたしたちの生活と政治 まちの“公共”ウォッチング (1)わたしたちの願いを実現する政治	地域センターの建設を例にしながら、地方公共団体や国の政治についてその働きや仕組みについて理解できるようにします。また、日本国憲法の学習では、憲法の三原則を中心に、その内容や必要性について捉えながら学習していきます。
(2)わたしたちの暮らしと日本国憲法		日本と関係の深い国について調べ、その国の特徴や習慣を知るとともに、国際社会に生きる日本人として異文化理解の大切さやその必要性について学んでいきます。また、国際連合の仕組みや世界で活躍する日本人を例にしながら、世界における日本の役割についてもあわせて学習していきます。	
後期 51時間	3 世界の中の日本 宇宙から地球を見る (1)日本と関係の深い国々 (2)世界の平和と日本の役割		